



げんき考房こまき

創刊号
Vol. 1
2017.4.15

INDEX

*P1 平成 29 年度小牧市市民活動助成金対象団体・事業を募集します *P3 市民活動センターレポート/市民活動センターをご利用ください
*P2 平成 30 年度実施する協働提案事業の募集が始まりました *P4 まち×げんき×NOW!

平成 29 年度

小牧市市民活動助成金対象団体・事業を募集します

受付期間
5月2日(火)
まで(必着)

市民活動助成金は、まちづくりの大きな力となる市民活動団体の社会貢献活動（公益活動）にかかる費用の一部を助成することで、市民活動の活性化を図り、協働のまちづくりの推進を図るものです。

	団体助成		事業助成
	「はじめる」部門	「ひろげる」部門	「つなげる」部門
	市内で活動を始めようとする団体や、活動を始めて5年未満の団体の運営や活動に補助	市内で活動を継続し、団体の強化や会員の拡大、活動の活性化を目指す団体に補助	団体が実施する活動、または団体と他組織（他団体、企業など）が協働して実施する、多様化する課題に取り組む新たな事業の経費を補助
助成限度額	5万円	10万円	20万円
回数	1団体につき2回まで	1団体につき3回まで	1事業につき3回まで
補助率	100%	1回目80%、2回目70%、3回目60%	

【応募資格】「小牧市市民活動推進条例」に基づき「市民活動団体」として登録されていること。

【受付期間】5月2日（火）までに市民活動センターまで必要書類を持参してください。※必ず事前にご相談下さい。

※詳しくは 協働推進課、東部・味噌・北里市民センター、ゆう 友 せいぶ、ふらっとみなみ、市公民館、まなび創造館などの市内公共施設、市民活動センターに設置してある募集要領をご覧ください。市民活動助成金交付申請書は、募集要領の中にあります。（市ホームページ、市民活動センターホームページにも掲載）。

【相談・問合せ先】市民活動センター、協働推進課まで ※連絡先は次ページにあります。

※※※※※平成28年度に交付を受けた団体の中から一部を紹介します※※※※※



- 団体助成「はじめる」部門
- モク・モククラブ 16
- 内容：高齢により管理が困難になった休耕地の草刈りや買い物代行など、高齢者の生活支援



- 団体助成「ひろげる」部門
- TUMKO の会
- 内容：桃花台ニュータウンの急激な人口減少、少子化、高齢化などの諸問題に対し、住民が主体となり住みよいまちづくりを模索する



- 事業助成「つなげる」部門
- 三ツ山子ども相撲大会伝承／なごやコーチン PR 事業
- 内容：地域の伝承文化「三ツ山子ども相撲大会」開催と、なごやコーチン入りカレーによる地域ブランドなごやコーチンの PR

協働提案事業化制度とは

市民活動団体と市が協働して実施する事業を提案する制度です。市民の皆さんと市が力を出し合って、地域課題などの解決に取り組むことで、より効果的なサービスを提供し、協働によるまちづくりの推進を図ることを目的に、平成24年度に創られました。

提案の種類には、行政から事業の協働相手を募集する行政提案型「はばたき」と、市民活動団体が行政との協働事業を提案する「きらめき」があります。



■行政提案型「はばたき」

平成30年度の実施に向け以下の事業を協働で行っていただく市民活動団体を募集します。

No.1 提案事業名 外国人向け市役所案内ボランティア（市民課）	
事業内容	窓口の繁忙期に市役所に来庁された外国人が、不安やストレスなく、効率的に要件を済ませることができるよう、市役所本庁舎1階を中心に、外国人向け窓口案内ボランティアを配置し、各課の窓口の案内をする。
No.2 提案事業名 小牧市ジュニアセミナーの開催（こども政策課）	
事業内容	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、市内公共施設等を利用して、小中学生の土・日曜日における文化活動や体験活動を提供する「小牧市ジュニアセミナー」の講座内容の企画と運営を行う。
No.3 提案事業名 こまなびネット facebook（生涯学習課）【再提案】	
事業内容	市内各公共施設で開催される講座のお知らせや公共施設で活躍する団体の活動状況をフェイスブックで発信していくため、それを集約するホームページの管理やフェイスブック講座の開催、フェイスブックの登録・活用のサポートを行う。

■市民提案型「きらめき」

市民活動団体から行政と一緒に協働事業の提案を募集します。

自分たちが行っているまたは行おうとしている活動を行政と一緒にやることで、より効果的に実施できるのではないかと提案をお待ちしています。

【応募資格】「小牧市市民活動推進条例」に基づき「市民活動団体」として登録している団体で、『まちを育む 市民と行政の協働ルールブック』に定める事項を尊厳できる団体。

【受付期間】6月9日(金)までに協働推進課、または市民活動センターに直接書類を持参してください。

※詳しくは、協働推進課、東部・味噌・北里市民センター、ゆう 友 せいぶ、ふらっとみなみ、市公民館、まなび創造館などの市内公共施設、市民活動センターに設置してある募集要項をご覧ください。協働事業提案書などの提出書類は募集要項の中にあります。(市ホームページ、市民活動センターホームページにも掲載)。

★市民提案型「きらめき」の実施事例★

このほかにも、さまざまな協働事業が実施されています！

【防災・減災教育支援事業】

内容：自主防災会・小中学校などに対して防災・減災教育を行う
実施団体：小牧防災リーダー会 × 危機管理課

【電話による女性相談事業】

内容：まなび創造館女性センターにおいて電話による女性相談事業を行う
実施団体：マハロ × まなび創造館



▲電話による女性相談事業

■市民活動助成金・協働提案事業に関する相談・問合せ先

◆市民活動センター（市公民館4階）

TEL 74-4011 休日：日・月曜日

E-mail komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp

◆市長公室協働推進課（市役所本庁舎4階）

TEL 76-1629 休日：土・日・祝日

E-mail kyodo@city.komaki.lg.jp

市民活動センターレポート

第3回 NPO 講座 知っておきたい！地域活動・市民活動のための「助成金活用セミナー」を開催しました

市公民館4階視聴覚室において、「小牧市市民活動助成金」を中心に、助成金の基本から交付後の資金の管理方法までを実践的に学ぶ「助成金活用セミナー」を2回にわたり開催しました。

■ 第1回 3月2日 (木)

市民活動センタースタッフより、助成金のメリット・デメリットなどについての講義のあと、身近な助成金として協働推進課から「小牧市市民活動助成金」について、また、こまき市民活動ネットワークから「住友理工 夢・街・人づくり助成金 in 北尾張」について、それぞれの特徴や留意すべき点を学びました。

■ 第2回 3月16日 (木)

助成金申請における事業計画や資金計画の考え方、また助成金交付後の資金管理の方法について、市民活動センタースタッフより説明を受けた後、こまきe-コミュニティーネットワークの河合事務局長より、「小牧市市民活動助成金」の会計報告に対応した表計算ソフトの使い方についてレクチャーを受けました。このソフトを帳簿代わりに使えば、年度末の面倒な計算が一切いらないとあって、「これは便利で助かる」との声が多く聞かれました。



▲1人1台のパソコンを使い、表計算ソフトの入力作業を体験

◎市民活動センターをご利用ください◎

簡単な利用登録(無料)が必要です。
まずは、気軽にお立ち寄りください

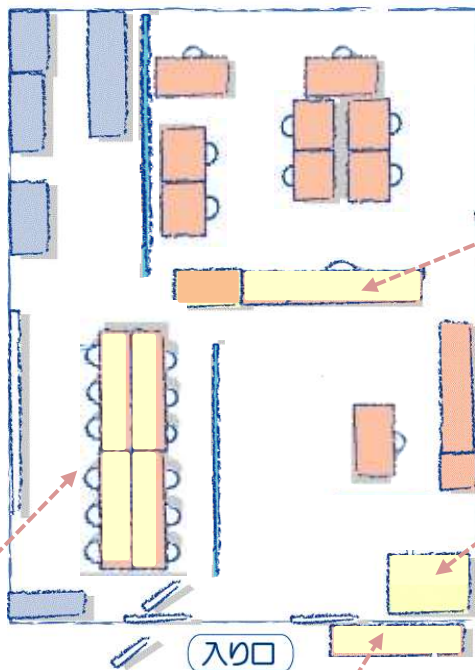
小牧市市民活動センターは、市民の皆さんのボランティア活動や市民活動を支援する施設です。市内で活動を行っている団体はもちろん、市内在住、在勤、在学のどなたでもご利用できます。

簡単な利用登録(無料、印鑑が必要)で、会議スペース、印刷機(有料)が利用できるほか、掲示コーナーへチラシの設置もできます。



会議スペース

10人程度までの会議にご利用いただけます。電話での予約も受け付けています。



受付

市民活動団体登録や市民活動センター登録のほか、ボランティア活動・市民活動に関するあらゆる相談にのっています。

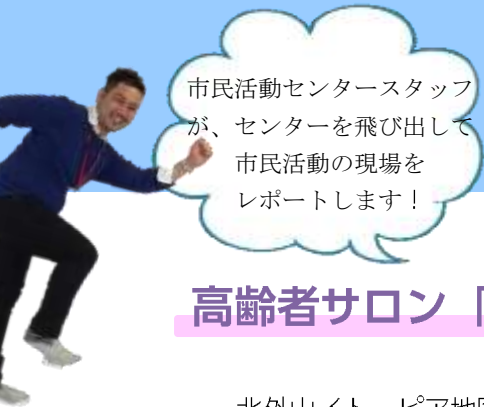
印刷機

1原稿 500枚まで100円で印刷できます(紙は持込み)。※営利目的のものは印刷できません。

掲示コーナー

団体紹介、仲間の募集、イベントの告知など、チラシやリーフレットが設置できます。





市民活動センタースタッフが、センターを飛び出して市民活動の現場をレポートします！

まち×げんき×NOW!

高齢者サロン「おとなりさん会」

北外山イトーピア地区の団地内にある集会場を使い、昨年6月にスタートした新しいサロンです。

代表の横地久代さんの指導のもと、軽い健康体操から始まり、脳トレ体操、口腔体操、笑いヨガ、おしゃべり会と続き、最後は春の抒情歌や童謡を歌って約2時間を過ごしました。

おしゃべりの中で「出かける場所と言えばスーパーと病院ぐらい」と話される方もいて、こうして気兼ねなく参加し、体を動かしたり、おしゃべりしたりできるサロンの存在は、大切な居場所のひとつになっているのだとあらためて感じました。

また、この日は、たまたま集会場の前をウォーキングしていた、この春応時中学校を卒業した女の子2人が飛び入りで参加。一緒にメニューをこなし、サロンに活気と温かい空気をもたらしてくれた素敵なサプライズとなりました。(3月27日(月))



▲じゃんけんを使った脳トレにチャレンジ！



▲笑いヨガの効果はこの通り！素敵な笑顔で、はい！チーズ！

小牧通訳ボランティア会「小牧山さくらまつり英語ガイドツアー」

名古屋国際センターのホームページでこのツアーを知ったという、名古屋商科大学大学院生4名(中国、ドイツ、フランスからの留学生)が参加し、小牧通訳ボランティア会の3名がガイドを務めました。

一行は小牧駅前観光案内所を出発し、ハナミズキ通りを歩いて小牧山へ。小牧山では歴史館内の「ひなまつり」企画展や、展望台からの眺望を楽しみました。参加者は今回のツアーについて「ボランティアでガイドをしていることに大変驚きました」と述べ、ガイドでこうして歓迎されたことに感謝されていました。

「最近日本のアニメやコスプレに大変興味がある若者も多い。日本の歴史や従来の文化に加え、新しい文化についても勉強していかなければと思っています」と同会代表の佐伯和夫さん。時代と共に、求められるガイドも変わっていくのだと気づかされ、その前向きな姿勢に「おもてなし」の心意気を感じました。(4月2日(日))

★会員募集中★ 現在5名で活動をしています。興味のある方、一緒に活動しませんか。問合せ先：090-8072-2817(佐伯さん)



▲観光案内所で、自己紹介のあとスケジュールを確認するメンバー。



◀歴史館の待機ガイドも務める同会。英語でのガイドも、わかりやすいととても好評でした。

編集後記 小牧市市民活動センター情報誌「げんき考房こまき」が、7年ぶりにリニューアルして創刊です。今号は、市民活動助成金と協働提案事業の2つをご案内しました。新たな気持ちでスタートした新年度。団体のステップアップにみなさんで検討されてみてはいかがでしょうか。(ひ)

小牧市市民活動センター 〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 市公民館内
TEL (0568) 74-4011 FAX (0568) 74-4070
E-mail komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp HP <http://komakici.jp/>
休館日 日・月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)